

M. S.（社会システム学科・2 年次生）

I. 留学レポート

① 留学を目指した理由

私は2回生秋学期の半年間、オレゴン州ポートランドへ留学しました。留学をしたきっかけは大きく2つあります。1つは、何か大学生活の中で、学生でいるうちにしかできない経験をしたかったからです。2つ目は、私は社会システム学科の CASE 上級で、1 回生の間、外国人の先生と英語の授業を受けましたが、なかなか自分の思っていることを伝えられず悔しい思いも沢山したので、自分を変えたいと思ったからです。

② 留学決定から出発までの準備期間

留学をするにあたっての、書類の整理から始めました。航空券の手配、ビザの手配をしました。ビザを取得するために、必要事項の入力、そして大使館での面接など手間は掛かりましたが、全て自分1人で出来たことは自信にもつながりました。ギリギリにやると時間が掛かるため、ビザの取得が間に合わないと思うので、早めに準備することをお勧めします。事前学習については、単語や日常会話の勉強をすることに加え、映画やドラマを海外のものに変えて、英語を耳に慣らしていました。

③ 現地到着後

PIA の先生が空港まで迎えに来てくれました。私は1人で飛行機に乗ったため、周りの友達と話すこともなく、1人で長時間のフライトを乗り切りました。とても狭いので、よく寝られなかったことを覚えています。ホストファミリーの家に送ってもらった移動の車では緊張して、先生と自己紹介などの会話しか出来なかったです。そして学校では、初めにオリエンテーション、クラス分けテストが行われます。私は、時差ボケもあり、テスト中でも眠くてあまり集中できなかったことを覚えています。1 回だけテストを受け直すチャンスがあります。そこで、2 クラス受け直して、クラスが上がりほっとしました。とても重要なテストなので、納得がいかない場合は再受験することをお勧めします。

④ 語学研修機関

◆ 施設・環境・スタッフ

学校の周りは自然がとても豊かで、日本では珍しいリスも見ることが出来て癒されました。学校からは、ダウンタウンにバス一本でいくことが出来て便利でした。周りには、スターバックスやレストラン、タピオカのお店もあったので、友達と帰りに寄ったりしていました。

◆ 授業内容・課題・試験

授業は、ライティング、リーディング、リスニング&スピーキング、文法の4つの授業があります、全てクラス分けされて、違うメンバーで授業を受けます。放課後、先生が分からない箇所など質問をすると答えてくれて、とても熱心に教えてくれる先生が多かった。

たです。課題は毎日あり量も多かったので、授業が終わったらすぐ帰らずに学校に残り、その日に出された課題を終わらせるようにしました。とても大変でしたが、周りの皆が必死に頑張っていたので刺激され、私も頑張ることが出来ました。

◆ サービスラーニング

私はサービスラーニングも受講していたので、月曜日から金曜日まで授業を受けました。サービスラーニングも課題がたくさんあり、発表やプレゼンテーションもあったので、大変でした。周りは英語ができる人が多かったので、とても刺激を受けました。私は諸事情により、1ヵ月間に4か所でボランティアをしました。ホームレスの人々への食事サポート、低所得層の子供達の留学プロジェクトの応援、そして入院中の子供達とその家族を少しでも支える為、他のボランティア達とアートを1から共に作り届けるプロジェクト、短期間の留学に来た日本人学生に向けて、学校の施設やポートランドの町の案内をしました。日本人が私1人で、戸惑うことも沢山ありましたが、周りの人達はとても優しい人が多く、すぐに仲良くなれました。私と同世代以外にも若い子達やお年寄りの人達までいたので、色々な話が出来、とても楽しかったです。改めて、ポートランドの人達は思いやりがあって温かい人が沢山いるなど感じました。この経験は、語学力向上だけでなく、人として成長させてくれる良いきっかけになりました。サービスラーニングは大変でしたが、本当に受講して良かったと思えました。ここで出会った仲間は連絡先の交換をして、今でも連絡を取り合っています。

⑤ クラブ、課外活動、ボランティア活動

学校で、申込制で出来るカンバセーションパートナーというプログラムに参加しました。1週間に1回のペースで会いました。パートナーは学校の先生だったので、文法の間違いや発音の間違いを的確に直してくれたので、とてもためになりました。週末には、カフェ、おいしいレストラン、コーヒーショップなど、色んなところに連れて行ってもらいました。そこで話しながら英語の勉強をしたので、とても楽しく学ぶことができて、良い思い出になりました。

⑥ 現地での住まいについて

1軒目のホームステイ先には、ホストファーザー、ホストマザー、女の子、男の子がいました。お母さんは日本人だったので、日本食も多く、美味しかったです。子供たちは元気でいつも一緒に遊びました。2軒目のホームステイ先では、ホストマザーと娘と1匹の犬と2匹の猫、そして3匹の鶏がいて、賑やかなところでした。ホストマザーがとても自然が好きな人だったので、週末には、ハイキングに行ったり、滝を見に行ったり、最後には、森林の中にある温泉に連れて行ってもらいました。日本では絶対に見ることが出来ない景色、体験だったのでとても印象的です。

⑦ 長期休暇の過ごし方

シアトル、ロサンゼルスに旅行しました。ハリウッドや、ディズニー、そしてサンタモニ

カビーチに行きました。カリフォルニア州は今回留学したオレゴン州とは全く違い、とても都会だったので、違ったアメリカの一面も見ることが出来、楽しかったです。反対に、シアトルはオレゴン州と似ている街並みであり、落ち着いた雰囲気でした。スターバックス1号店や、パイク・プレイスマーケットに行って街を満喫しました。

Ⅱ. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も印象に残っていること

全て良い思い出ですが、1番印象に残っているのはサービスマーケティングでの活動です。幅広い年齢の方と接することが出来たので、とても良い経験になりました。ボランティア先の人はみんな優しく、積極的に私に話しかけてくれて、仲間に入れてくれました。そこで出来た友達は、いまでも連絡をとっている仲です。英語だけでなく、ボランティア活動を通して、人として成長することが出来たと思います。

② 留学中でつかったこと、最も苦勞したこと

2軒目のホストマザーは感情の起伏が激しく、自己中心的な人だったので、私と約束していた事も忘れがちで、疲れました。最後は、あまり考えないようにしていました。

③ 文化、習慣などの違いで驚いたこと

見知らぬ人にもフレンドリーに話しかけてくれることです。バスの運転手の人も気軽に、調子はどう？など普通に話かけてくれます。ホームレスの人々もバスを待っている時に、今日の出来事を話してくれて、留学生だと言ったら、頑張ってるねと言ってくれました。とても居心地が良かったです。

Ⅲ. 留学志望者へのアドバイス

① 日本から持って行って特に役立ったもの

パソコンは絶対に必須です。レポートやプレゼンテーションが課題で出されるので、ほぼ毎日パソコンは使っていました。また、私は持っていかなかったのですが、ドライヤーは必要だと思いました。アメリカ人はドライヤーをする文化がなく、髪を自然乾燥する家庭が多いので、ドライヤーがない家庭も多いと聞きました。だから、自分のドライヤーを持っていくのもいいと思います。

② 語学力の向上、留学の成果、留学前と後で変わったこと

TOEICはまだコロナウイルスの影響で受験していないので、正式な点数はまだわかりませんが、留学前は自分の意見を英語できちんと言うことが出来なかったのが、留学を通して、積極的に会話することが出来るようになりました。外国人のひとと会話をして、楽しい、もっとコミュニケーションをとりたい、と思うようになったことです。また、留学前、留学後と比べてみると、海外の映画が聞き取れるようになりました。自分でも意識していなかったのですが、聞き取れる部分が増えたことはとても嬉しかったです。

③ これから留学を考えている方にアドバイス

この留学は、自分の人生の中で一生忘れられない経験になりました。毎日朝早くから授業を受けて、帰ってからも勉強する良い生活リズムで過ごせました。諸事情により、過酷な状況下でも留学を全て終わらせることができたことは、自分の自信に繋がりました。学生時代に大きなチャレンジをして、成し遂げられたことで、これからの自分の人生において何事も諦めずに挑戦することの大切さを学びました。留学することは、簡単なことでは決してなく、楽しい事だけではありません。ですが、辛い事を乗り切った時には、これからの自分の自信に繋がります。長期間留学できるチャンスは学生時代だけだと思うので、迷っている人がいれば、勇気を出して挑戦してください。

IV. 将来の目標

航空関係の仕事に就いて、外国人の人たちと関わる仕事をしたいと思っていたのですが、今回のコロナウイルスの影響を鑑みて、違う分野も見ないといけないと思いました。まだはっきりと業界は決まっていますが、将来的には、この留学をきっかけに、更に外国人の方々と関わる仕事をしたいと強く思いました。

V. 写真



ホームレスの支援を行った時の同じボランティア先の子です。一緒に食事の支援を行いました。私と仲良くしてくれて、沢山喋りました。いまでも SNS でやり取りしています。



ポートランドはとても自然が豊かな街で、週末にはホストマザーがいろいろな所に連れていってくれました。有名な滝が沢山あり、犬と一緒にハイキングをしました

M. H.（英語英文学科・2 年次生）

I. 留学レポート

① 留学を目指した理由

私は小さい頃から英語が好きでした。授業として文法を習ったり文章を書くのはあまり好きではありませんでしたが、人と話したりするのが好きでした。けれど英語で会話することが得意というわけではなかったのも、自信を持てるようになりたいと留学を決意しました。また、小さい頃から将来の夢があり、実現するための一歩になるようにという思いもありました。

② 留学決定から出発までの準備期間

留学が決定してから出発するまでは長いようで短かったです。ビザの取得が何よりも大変でした。まず領事館に行く前にネットで文書の作成や面接の予約などをします。動画を見ながら進めていくのですが案外難しく、何度も投げ出したくなりました。また、私がビザ申請をしに領事館に行った日は台風が近づいていた日でした。他の日に変更をしたかったのですが、アルバイトとの兼ね合いもありその日しか面接に行けなかったのです。そのため確実に取得できるかとても不安でした。

さらに、実際に行く準備をするのも大変でした。わくわくした気持ちが募る一方で、準備するものが多く、慌ただしい日ばかりで疲れていました。余裕を持って行動すればよかったと感じました。

③ 現地到着後

空港についたら PIA のスタッフの方が迎えに来てくれます。PIA スタッフの方と話して待っているとホストファミリーが迎えに来てくれます。現地についてすぐは眠かったのですが、家に着くと寝ていいよと気を遣って下ったので安心しました。着いた次の日に学校に行ってクラス分けテストとオリエンテーションを受けます。疲れが取れないままでしんどかったのですが、スタッフの方達が丁寧にわかりやすく対応してくださったので特にトラブルはありませんでした。

④ 語学研修機関

◆ 施設・環境・スタッフ

学校は外観も校内もとてもきれいでした。Wi-Fi の環境も整っており、不自由なく使うことができました。私のお気に入りの場所はカフェテリアです。毎日カフェテリアでお昼ご飯を食べていましたし、授業の後は勉強をしていました。机が大きいので教科書をたくさん広げることができ、勉強をしやすかったです。併設されているカフェもよく利用していました。イチゴとバナナのスムージーがとても美味しくてよく飲んでいました。スタッフの方々は皆さん親切で優しかったです。授業のことやホストファミリーとのことでわからないことがあった時、いつもすぐに解決してくださいました。

◆ 授業内容・課題・試験

授業は一コマ 2 時間半で間に 15 分の休憩があります。最初の方は長くて大変だと感じましたがすぐに慣れました。課題は多い日と少ない日とで差があります。多い日や複雑なものがある日は少し大変でした。基本的に週末はいつもより少し多く出されます。Winter term は人数がとても少なかったのですが、少ないほうが自分の意見を先生に聞いてもらう機会が多く、充実した時間を過ごせたと思います。試験は少し大変でした。2 時間半ぎりぎりまでかかるテストが多く、集中力を持たせるのが大変でした。Listening & Speaking のクラスはテストの準備とプレゼンテーションの準備を同時にしなければいけないので少し大変です。けれどしっかり対策をすれば乗り切ることができるので大丈夫だと思います。

⑤ クラブ、課外活動、ボランティア活動

学校ではカンパセーションパートナーというプログラムに参加していました。スタッフの方がパートナーを探してくださり週に一度決めた場所で会っているんなお話をします。ペアとなるパートナーは大学の学生や教員など人によって違います。

また毎週金曜日に近くの語学学校でカンパセーションのクラブがあり、よく参加していました。いつも学校で会わない人と会話をするのが楽しかったですし、より多国籍の人と知り合うことができました。

⑥ 現地での住まいについて

ホストファミリーは親切にしてくれました。食事は私が気に入った料理を覚えてくれていて定期的に作ってくれました。好き嫌いが無いのでその点では困ったことはありませんでしたが、胃が弱い体質なので脂っこい食べ物があまり食べられず胃薬が手放せなかったのは少ししんどかったです。夜はホストマザーが作ってくれますが、朝ご飯とお昼ご飯は自分で作らなければいけませんでした。なので朝と昼で胃に負担のかからないものを食べていました。

⑦ 長期休暇の過ごし方

11 月末から 1 月の初週までが冬休みでした。とても長かったですがほとんど旅行に行っていました。12 月に入ってすぐはカリフォルニアに行きました。メインはディズニーランドでサンタモニカビーチなどにも行きました。私はディズニーが好きなのでとても楽しみにしていました。国内線なので特に飛行機で困ることはなかったですが、空港についてからビーチに向かうのに乗るバスが分からずあたふたしてしまいました。それも良い思い出です。カリフォルニアから帰ってきて数日後にはニューヨークに行きました。ニューヨークはやはり都会！という印象が強く、見るもの全てが新鮮でした。一週間滞在しましたがもう少し居たかったように思います。美術館に行ったり、自由の女神を見に行ったりと充実した時間を過ごすことができました。旅行なのでホテルでお菓子を食べながら夜更かしするのも楽しかったです。年末から年明けは母たち家族が来てくれて一緒にラスベガスに行きました。ラスベガスはニューヨークとはまた違った感じで豪華で煌びやかな都市でし

た。ショーを見たり買い物をしたり美味しいものを食べたりと楽しかったです。久しぶりに家族と会えて安心したのか時差もないのにずっと眠たく、夜は爆睡していました。

Ⅱ. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も印象に残っていること

留学中楽しいことが多かったのです。行ってすぐのころは見る景色や人など全てが新鮮で、毎日バスで通学しながらワクワクでした。慣れてくると新鮮さはありませんでしたが「慣れた」ということがうれしかったです。また休みの日にバスや電車に乗って自分たちだけで出かけるのが楽しかったです。最初のころは行き慣れてないですし乗り慣れていないので不安なことも多く、怖いという感情もありました。けれど毎日過ごしている中で完璧な英語でなくても伝えようとすればわかってもらえるということを学んだので、わからなければ周りの人に聞きました。そうしていくとできるという自信に繋がり嬉しかったですし、出かけるのも楽しくなりました。一番の思い出はクリスマスです。朝からツリーの下にあるプレゼントを開けて騒いだり、おばあちゃんの家に行って美味しいクリスマスディナーを食べたりと日本では体験することのできないことをたくさん体験できました。

② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

つらかったことで思い出すのは部屋の環境です。私の家は冬でもほとんど暖房がついていませんでした。欧米の家族だったので日本人と寒さを感じる温度が違いうで、私が服をたくさん着込んでいてもホストファミリーは半袖シャツ一枚ということもよくありました。日本では冬は床暖がついているのでその温かさが恋しかったです。また、部屋が少し小さかったのもつらかったです。3歳の子の部屋を使わせてもらっていたので部屋が狭かったです。なので圧迫感があり、長時間部屋で勉強などをしていると気持ちが重くなったりはしました。最も苦勞したのはやはり食事です。前述したように胃が弱いので脂っこく、味付けの濃いものはしんどかったです。

③ 文化、習慣などの違いで驚いたこと

ホストファザーが教えてくれたことでとても驚いたことが一つあります。それは食事のマナーについてです。私の家では大皿にごはんが出され、自分の好きな分だけ取る方式でした。娘がいつもごはんをほとんど食べずに残し、それはそのまま捨てられるのもったいないと思い聞きました。アメリカでは全て食べきらず残すのがマナーのようです。日本では米粒も残さずに食べなさいと言われるので驚きました。逆にホストファミリーも私がいつもきれいに食べるので驚いていたようです。食べ終わったお皿を見て、よく犬が舐めたみたいだと言われていました。

Ⅲ. 留学志望者へのアドバイス

① 日本から持って行って特に役立ったもの

まずは何よりもパソコンです。パソコンは必ず使うので必要です。その他には電子辞書、文房具です。ペンなどは自分の愛用のものがあれば余分に持って行くと良いと思います。また、小さなかばんは役立つと思います。出かける用のハンドバッグ、学校にちょっとした物を入れるトートバッグなどです。

② 語学力の向上、留学の成果、留学前と後で変わったこと

コロナウイルスの影響で帰国後に TOEIC を受けることができず、点数として向上したかはわからないのです。けれどこの 4 月から日本で授業を受けている中で大きく感じるのは英語を話すことが怖くなくなったことです。今までは自分の英語が伝わらず会話が出来なかったらどうしようという気持ちが大きく、自分から英語を話すことができませんでした。けれど留学期間中に「とりあえず話してみる」ことの大切さを学んだので怖いという気持ちは全くなり、積極的に会話をする事が出来るようになりました。冷静に考えてみると簡単なことです。私たちが外国人の方が話されている日本語を聞いた時、文法が間違っていたり少し意味がわからなくても推測して理解することができますし、下手だからと言って笑ったりしません。それと同じで間違えていたりしても決して笑われることはありませんし、恥ずかしいことはありません。けれどこれは実際に経験しないと分からないことでもあるのかなと思います。なので今回これを経験することができて良かったです。

③ これから留学を考えている方にアドバイス

もし留学を迷っているならぜひチャレンジしてほしいです。半年間は短いと感じるかもしれませんがたくさんのことを学ぶことができます。また、自分の自信にも繋がると思います。留学に行きたいと準備をしている人は大変なことも多いかと思いますが、楽しい生活が待っています。頑張ってください。

Ⅳ. 将来の目標

コロナウイルスのためまだどうなるかはわかりませんが、この 8 月末から協定留学で半年間またアメリカに行きます。自分自身もっとたくさんのことを学び、様々なことにチャレンジをしたいと思い決めました。将来は子供の頃からの夢である職業に就きたいと思っています。そのためには英語も必要ですし、勉強を続けていきたいと思っています。

V. 写真



これは PUMPKIN PATCH の写真です。ハロウィンの前に、ハロウィンの時に飾るカボチャを手に入れるために行きました。見たことのないぐらい大きなカボチャばかりできれいな形のものを探して持つて帰るのが大変でした。家に帰ってカボチャを彫ってハロウィンの置物を作りました。

※PUMPKIN PATCH→ハロウィン用のパンプキンを売り出している場所



これはクリスマスの時の写真です。おばあちゃんの家で親戚皆が集まって過ごしました。ツリーの下にたくさんプレゼントがあります。この後、みんなで円になって順番にプレゼントを開封していきます。今までにもらったことのない量のプレゼントをもらいました。良い思い出です。

A. M.（英語英文学科・2 年次生）

I. 留学レポート

① 留学を目指した理由

ずっと英語力をあげたいと思っていましたが、外国の方とコミュニケーションをとるための英語を身に付けるには、英語圏の国に留学して、英語を話す人達ばかりの空間で生活し、英語で会話することが最良の方法だと考え、それが私の留学をしたい一番の理由でした。そしてもう一つは、留学することで自分自身の性格を変えられるのではないかなと思ったからです。私は昔から引っ込み思案で思ったことをはっきり言えなかったり、自分でしなければいけないことを人に頼ったり、弱い部分がありました。なにもかも自分でしなければいけない環境に身を置くことで、そんな自分を少しでも強く変えることができるのではないかと考えました。今まで日本で生活してきたことで形成された固定観念や考えによって、狭い視野だけで生きていくのではなく、今まで出会ったことのない様々な価値観・考え・文化を持った人達と関わり、自分自身の見方や考え方の視野を広げ、人間的にも成長したいと思いました。協定留学は私にとってレベルが高く、また、半年程度留学に行きたいと思っていたので、セメスター語学留学が一番良いと思い、今回セメスター語学留学でアメリカの PIA に行ってきました。

② 留学決定から出発までの準備期間

アメリカに半年留学に行くとなると、学生ビザの発行が必要です。私は一ヶ月前くらいに申請しに行きましたが、一ヶ月以上前に行くことをおすすめします。余裕をもって行動することが大切です。事前学習は、日常会話を少し勉強したぐらいです。事前英語学習も大切ですが、半年後どのようにになりたいのか目標を持ち、留学中の計画を練ることも大切だと思います

③ 現地到着後

空港にはホストマザーが迎えに来てくれました。家に着いたときもホストファミリーが暖かく迎えてくれたので、嬉しかったのを今でも覚えています。学校初日にオリエンテーションがあり、クラス分けのテストもあります。これによりレベル分けされるので、時差ボケで眠いとは思いますが集中して受けた方がいいです。携帯電話会社によって違うとは思いますが、現地の sim カードを使うのが一番安いと思います。私は au だったので、アメリカに来る前に au の利用停止をして、アメリカに着いてからホストファミリーに連れて行ってもらって現地の携帯電話会社で sim カードを購入しました。家でも学校でも Wi-Fi が使えたので 5 ギガで十分だと思います。それが面倒な人は、自分の携帯会社の国際プランのようなものに加入したほうがいいと思います。（現地で sim カードを買うよりは高いと思いますが）

④ 語学研修機関

◆ 施設・環境・スタッフ

ワーナーパシフィック大学は緑に囲まれているのでとても居心地がよかったです。施設外も施設内も定期的に整備しているので綺麗です。緑に囲まれているということもあり、リスがいます。かわいいですが、食べ物をあげたり、触ろうとしない方がいいらしいです。食堂はありますが、日本の大学と比べると少し値段が高いと感じました。家からお昼ご飯を持ってくる人が多かったです。大学内にカフェがあるのでたまにコーヒーやスムージーを飲んでいました。近くにもカフェやタピオカ屋やスターバックスがあるので学校帰りにも行きやすいです。

◆ 授業内容・課題・試験

前日したようにクラスはレベル分けされて、レベルによって授業内容も違います。先生はレベル相応の授業をしてくれるので、心配することはないと思います。宿題は多いですが、次の授業までに終わらせられる量なので、はじめは大変に感じますが、きちんと勉強時間を確保すれば大丈夫です。テストも毎回授業を受けて復習していれば悪い点を取ることもないと思います。わからないことは先生に質問すれば、先生は丁寧に教えてくれます。

⑤ クラブ、課外活動、ボランティア活動

—

⑥ 現地での住まいについて

私のホストファミリーは四人家族でした。マザーが日本人でファザーがベトナム人でした。マザーは日本食を作ってくれたし、ファザーも料理が上手だったので、食事に困ることはなかったです。子供二人はとてもかわいく、一緒に遊ぶのが楽しかったです。特に制限もなく、何不自由なく暮らせたことにとても感謝しています。

⑦ 長期休暇の過ごし方

冬休みは一ヶ月と少しありました。その期間を使い、友達とカリフォルニアとニューヨークに行きました。カリフォルニアでは、サンタモニカビーチに行ったりディズニーに行ったりしました。ニューヨークでは、自由の女神を見に行ったり、ブロードウェイミュージカルを観たりしました。とても貴重な体験ができました。オレゴンもそうですが、カリフォルニアやニューヨークにもホームレスの方がたくさんいたことに驚きました。

II. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も印象に残っていること

友達という時間が楽しかったです。テストが終わった日などに友達とタピオカ屋に行って語ったのがとても印象に残っています。友達と話すことは、私にとって疲れを忘れられるような大切な時間でした。相談に乗ってくれた友達にはとても感謝しています。

② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

アメリカの人たちは友達や親せきとよく家に集まったりします。特に Thanksgiving や Christmas など行事の時です。はじめはなにを話したらいいかわからず、あまり馴染めなかったもので、正直居づらかったです。しかし、みんなから私に話しかけてくれたので、最終的にはたくさん話すことができました。もう一つ大変だったことは通学です。朝はホストファザーが送ってくれたのですが、帰りはバスを降りてから 15 分くらい歩いていました。家が山の方にあつたので、いくつも坂があり、上るのが大変でした。

③ 文化、習慣などの違いで驚いたこと

驚いたことは、トイレの手を洗うところの水道水を飲むことです。私の感覚では水道であってもトイレの水道なので、飲むという考えはなかったです。なんで飲むの？と聞いたらその人は食堂にある水道もトイレの水道も同じ管を通っているのだから同じだ、と言っていました。夜ご飯の残り物をそのままキッチンに置いてあつたのも驚きました。日本人ならラップをして冷蔵庫に置いておく人が多いと思います。アメリカの人たちは細かいことを気にしないし、大雑把だなと思いました。

Ⅲ. 留学志望者へのアドバイス

① 日本から持って行って特に役立ったもの

パソコンと USB です。パソコンは宿題や大学に月報を送るときなどに必要です。USB は、授業によっては印刷する必要があるのであると便利だと思います。あとは、カップラーメンやみそ汁を何個か持って行ったのですが、たまにそれを食べるのが至福のひと時であり、日本を思い出して、あと少しがんばろうという気になりました。化粧水・乳液という概念がないのか、それらは売っていませんでした(見つけられなかったかもしれません)。私は化粧水を持って行ってなかったので、ダウントウンにある無印良品で仕方なく買いましたが、値段が日本の倍ぐらいます。化粧水・乳液は持って行った方がいいと思います。

② 語学力の向上、留学の成果、留学前と後で変わったこと

スピーキング力もそうですが、それ以上にリスニング力が上がったと感じます。今、TOEIC のリスニングの勉強もしていますが、以前より正答率もあがり、なんの会話をしているのかわかるようになりました。日本に帰ってきてその力が落ちないように引き続き勉強しようと思います。日本で中学校や高校の時に文法を習いましたが、アメリカで再び文法の学習をして、自分が違った認識をしていることに気づきました。この使い方は間違えていると先生が指摘してくれたり、自分が知らない文法を教えてもらったりしたので、新しい知識も取り入れることができました。辞書を使わずにライティングを書くとき、はじめは全然書けませんでした。しかし、構造や文章のつなげ方を習い、以前よりもスラス

ラと書けるようになりました。辞書なしである程度の量を書けるようになったのは自分にとって大きな成長です。

③ これから留学を考えている方にアドバイス

留学をするというのは自分にとって大きな挑戦でした。私は長期間海外に住むのは初めてで、不安だらけでした。親から離れ、英語だけの空間に住むというのはとても大変なことだし、何度も早く帰りたいと思うこともありましたが、今は達成感で満ち溢れています。半年間異国の地で過ごしたこと、自分の英語力向上を実感することが自信につながり、きっとこれからは役立ちます。留学を決めた方は、後悔のないようにがんばってほしいと思います。

IV. 将来の目標

決まっているわけではありませんが、地元の市役所で働くことに興味があります。地元には、多くの外国人が住んでいます。また、いくつかの姉妹都市や友好交流都市があり、それらの都市との文化や教育、行政などの分野での交流もあります。日本人の住民だけでなく、海外から移住してきた人たちの手助けができればいいなと思います。

V. 写真



これはポートランド発祥のブードゥードーナツのドーナツです。デザインもカラフルで写真映えます。味は結構甘いですがとてもおいしいです。何回か食べました。店の前を通るときはいつもすごい列でした。人気店です。



これはシアトルに行った時のスターバックス一号店の前で撮った写真です。まさか行けると思っていなかったのが、嬉しかったです。



冬休みに友達とカリフォルニアのディズニーに行ってきました。私はディズニーが好きなので、終始興奮しました。日本とは違うアトラクションにも乗れて、楽しかったです。



友達がクリスマスパーティーに招いてくれて、参加しました。クッキーで家を作り、デコレーションしました。日本ではこのようなことをしないので、新鮮でした。友達は日本が好きで、日本ではクリスマスにケーキを食べることを知っていたので、ケーキを用意してくれました。アメリカではクリスマスケーキを食べないと言っていました。



クリスマスイブにホストファミリーと親せきでパーティーをしました。子供たちはクリスマスプレゼントをもらって喜んでいました。